



2021年7月31日

各 位

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所
 代表者 代表取締役社長執行役員 山本 隆章
 (コード番号 5702)
 問合せ先責任者 執行役員 管理部長 黒須 弘人
 (TEL 06-6444-2751)

2021年3月期業績予想の公表及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において2021年3月期の業績予想及び期末配当予想を未定としておりましたが、2020年7月31日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年3月期の業績予想の公表及び配当予想の修正を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	59,000	1,740	1,480	1,070	26.42
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	85,123	3,901	3,909	2,770	68.36

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	130,700	4,510	4,130	2,860	70.61
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	159,079	7,719	7,723	5,586	137.88

2021年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	34,300	△70	250	190	4.69
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	50,498	1,315	1,666	1,124	27.75

2021年3月期通期個別業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	71,400	600	1,930	1,600	39.50
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	92,022	2,325	3,372	2,895	71.48

業績予想の理由

2020年3月期に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、合理的な業績見通しの算定が困難であったため、2021年3月期の業績予想を未定としておりましたが、最近の大手需要先である自動車メーカーの生産動向等を踏まえ、上記のとおり業績予想を策定いたしました。新型コロナウイルス感染症の収束の時期は未だ不透明であり、新型コロナウイルス感染症の影響が世界で継続及び拡大した場合は、当社や顧客の工場稼働の悪化要因になる等、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2020年5月14日発表)	—	12.00	—	—	12.00
今回予想	—	10.00	—	12.00	22.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (2020年3月期)	—	12.00	—	13.00	25.00

2020年5月14日に発表いたしました2020年3月期決算短信においては、2021年3月期の中間配当予想を公表し、期末配当は未定としておりましたが、業績予想の策定に伴い、その内容及び経営環境等を勘案し、配当予想を決定いたしました。

修正の理由

当社の利益配分の基本政策は、企業収益の状況に対応して安定的な配当を維持することを基本とし、企業体質の強化、今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定すべきものと考えております。中間配当金を1株当たり12円と予想しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、上期業績が低調に推移したことを踏まえ、中間配当金を10円、期末配当金を12円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当額は22円とさせていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。